

形式を期待して参加した会員は、戸惑われたかもしれない。

導入編では、いま病院図書室からアクセスできる図書館相互協力ネットワークと文献複写物入手する様々な経路について概論した。参加者のイメージにあった「複写物」という物としての「入手」が様々な館種の図書館相互協力活動によって行われていることを端的に理解できたと思われる。

基礎編では、なんら目新しい新技術を披露したわけでもなくJMLA相互貸借マニュアルに忠実に従うとこのようになります、という模範を紹介したのだが、ベテラン担当者ですら初めて聴く内容もあったようだ。やはりマニュアルを完全に理解し実践している担当者は少ないように思われた。基本的な手順を解説したあとに、それでも困難な場合の解決法を応用して紹介した。さらに、受け付ける立場から申し込む側に望みたいことを話してもらい、受け付ける側の立場を考えた上で相互貸借業務に臨まねばならないことを強調した。

このあと会場を提供して頂いた淀川キリスト教病院の御好意でコーヒープレイクとなった。その休憩中にも複写料金の支払い方法についての質問がでたり、個々の目録類についての解説を求められたりと参加者の熱意が窺えた。

講義で学んだ事柄をどの程度理解できたか、いよいよ実習によって試してもらおうこととなった。司書講習のカリキュラムに参考調査実習というのがあったが、この相互貸借実習はそれを思い起こさせるような風景だった。

今回の勉強会のために相互貸借業務に必備のツールを各種取り揃えておいたので、これから目録類を揃えようとする病院にはとても参考になったようだ。値段を見て驚いていた参加者もいたが、相互貸借業務を行うにはそれを相応のコストがかかることを、理解していただきたいと思う。

(文責：徳田雅子・研修部)

平成5年度 第1回、第2回幹事会報告

■ 第1回(4月21日、星ヶ丘厚生年金病院)

I 各事業部報告と協議事項

事務局(総務・会計) ①案内：県立尼崎病院、県立西宮病院、公立学校共済組合近畿中央病院。②会員異動：別掲参照。③会計担当幹事の加島民子氏が3月から療養のため欠勤。④近畿地区医学図書館協議会第56回例会(5/14奈良県立医科大学)へ加島民子氏、松本純子氏が出席。⑤JMLA第28回研究集会(8/18-20 日本大学塩原研究所)の案内。

研修部 ①第67回研修会(事例報告会)の出席者は40名。②4月10日に打合せを持ち、5月の勉強会と7月の研修会では相互貸借の基本と問題点をテーマとする企画を立てた。

会誌編集部 ①会誌13巻1号の経費と発行経過報告。②13巻2-4号の編集企画について報告。

統計調査部 特になし。なお、昨年度まで担当していた笠原廣子氏が幹事から退かれたため、新幹事が担当することになった。

総合目録編集委員会 事務局から補佐に就いたが年度末のため、作業を進めることができなかった。

II 決定事項

(I) 平成5年度の事業部の分担を次のように決定した。〔◎は部長、※は一般会員〕

事務局：会計；松本 純子(住友病院)

総務；松井美抄枝(大阪労災病院)

研修部：◎徳田雅子(大阪府立母子保健総合医療センター)、山室真知子(京都南病院)、林伴子(社会保険神戸中央病院)※

会誌『病院図書室』編集部：◎首藤佳子(星ヶ丘厚生年金病院)、前田元也(西淀病院)、山崎捷子(淀川キリスト教病院)、中嶋和子(西宮市立中央病院)※、浜口恵子(高槻赤十字病院)※、田中泉美(国立姫路病院)※

統計調査部：◎木下久美子(高山赤十字病院)

総合目録編集委員会：◎加島民子(大阪回生病

院)、重富久代(京都市立病院)※、足立ひとみ(大阪府立成人病センター)※、山口佐保(大阪厚生年金病院)※

- (2) FAXによる文献申込みの可否について、近畿地区医学図書館協議会の加盟館に事務局からアンケート依頼をすることにした。これは今後、東海地区についても進めていくことを予定している。その集計とまとめについては研修会プログラムとの関連から研修部が行う。
- (3) 会誌『病院図書室』の購読会員の拡大を図るため、設置主体別に分担して案内資料を配布することにした。分担者は木下久美子、小田中徹也、首藤佳子、松井美抄枝、松本純子の5氏。

■ 第2回(5月10日、国立京都病院)

I 各事業部報告と協議事項

事務局(総務・会計) ①案内と入会:MRの文献活動の自粛から、例年になく協議会活動について、特に文献入手に関連して問い合わせが数多くあり、別掲6機関とその後の入会を併せて13機関の入会があった(7月31日現在)。②日本病院会全国図書室研究会(8/5-6 静岡)の当協議会後援名義の使用について依頼があった。③JMLA第64回総会(5/20-21 川崎医療福祉大学)に山室真知子、前田元也、林伴子の各氏が出席した。④会計報告:銀行口座の変更。3機関の会員は会費未納の状態が続いており、どのように扱うか検討していくことにしたい。その他の会費納入状況は順調であることが報告された。⑤会員異動:別掲参照。

研修部①年間スケジュール、日程とテーマについて報告。②研修会・勉強会(相互貸借)の企画運営についての会員へのアンケート結果報告。③医学雑誌の現行所在目録テスト版を勉強会の資料として作成した。これを協議会全体の事業に拡大して欲しいとの要望があった。④第3回勉強会を5月26日、淀川キリスト教病院で開催し、新人を中心に27名もの参加があった。相互貸借の基本について実務を勉強した。

会誌編集部 ①記事掲載について一部予定変更になった。②13巻4号は相互貸借を特集とする。③

広告収入、新購読会員の報告。

統計調査部 ①重複雑誌目録と年次統計調査について日程スケジュールの紹介があった。②年次統計の調査内容について一部変更したいとの提案があり、次回幹事会に提出することにした。

総合目録編集委員会 編集委員長の加島民子氏が欠席。また、出席予定になっていた編集委員の重富久代氏も都合により欠席となった。事務局が応援して早急に編集会議を開き今後の対策を講じることにした。

II 決定事項

- (1) 今年度の日本病院会全国図書室研究会の後援名義については了承することにした。来年度以降については次回幹事会で再検討する。
- (2) 今年度の名古屋研修会の実行委員長には笠原廣子氏(名古屋第一赤十字病院)にお願いする。
- (3) 新入会員の急増と総合目録ではカバーできない最新所蔵データを補うことを目的に、医学雑誌目録の現行所在版を協議会事業として発行する。編集委員に山室真知子氏と徳田雅子氏が当たり、必要に応じて若干の協力者を募ることにした。

—————《 新入会員紹介 》—————

健康保健東濃病院

〒509-02 岐阜県可児市土田1221番地の5

TEL.0574-25-3113 FAX.0574-25-4657

院長:速水四郎

担当者:速水四郎(院長兼務)

西尾典子(庶務課兼務)

市立岸和田市民病院

〒596 大阪府岸和田市加守町4丁目27番1号

TEL.0724-45-6381 FAX.0724-45-9375

院長:影山直樹

担当者:小森正好(総務課長兼任)

迫田節美(兼任)